



山形県中学校長会運営にあたって

山形県中学校長会

会長 加 藤 ゆかり (山形市立第二中学校)

はじめに

第1回理事会におきまして、今年度の会長としてご指名いただきました。県中学校長会の一員として職責を自覚し、各地区校長会のご協力をいただきながら、県中学校教育の充実と発展のために誠心誠意努めて参りますので、会員の皆様からのご指導とご協力をお願い申し上げます。

今年度の運営にあたって

今年度、県中学校長会の運営にあたっては、全日本中学校長会新教育ビジョン「学校からの教育改革」(令和2年5月策定)や研究主題「『豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会を創る担い手』を育てる中学校教育」を踏まえ、さらに県中学校長会「活動方針」に基づき、特に「学校経営」と「中学校教育の課題」という2つの側面から、以下について重点的に取り組んでまいります。

1 学校経営の充実

(1) 確かな学力の育成

- ① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 (ICT 機器を活用した効果的な学習の在り方)
- ② 探究的な学習の推進
- ③ 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成・実施

(2) 働き方改革の推進 (第Ⅲ期プラン)

- ① 教職員がいきいきと働くことのできる環境づくり (働きやすさ・働きがい) のためのマネジメント
- ② 授業づくりをはじめ、教員が本来の業務に専念するための時間の確保

(3) 各世代での人材育成

- ① 次世代をけん引するミドルリーダーの育成
- ② 若手教職員の指導力向上

(4) 他機関等との連携強化

- ① 様々な人材の効果的な活用

- ② 学校だけが抱え込まない連携の在り方の構築

- ③ スクールロイヤーの効果的な活用

(5) 信頼される特色ある学校づくり

- ① 生徒の安全・安心の確保
- ② 教職員の綱紀保持及び不祥事の防止
- ③ 家庭・地域と連携した創意ある学校づくり

2 中学校教育の課題への対応

(1) 部活動改革

- ① 地域展開に向けた実践研究と情報交換
地域展開の状況及び課題の把握
- ② 関係機関等との部活動改革に係る諸課題についての情報交換及び意見の具申

(2) 生徒指導上の諸課題への対応

- ① いじめや不登校生徒への対応や関係機関との連携、情報交換
 - ② 現在の生徒指導上の諸課題の把握とその共有
 - ③ 連合小学校長会及びPTA等との連携の強化
- (3) 高校入試制度に係る課題の把握と意見の具申

おわりに

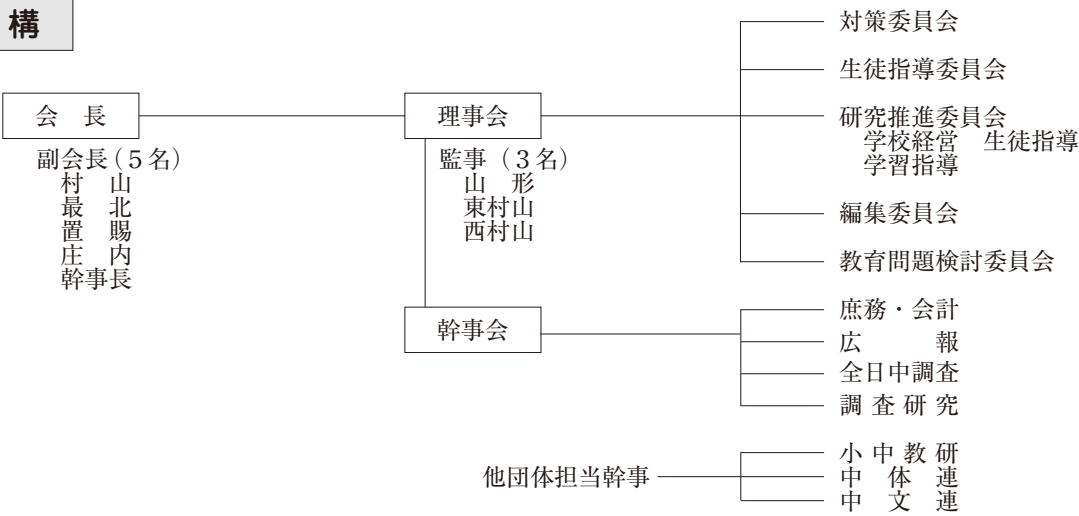
子供たちや学校を取り巻く社会・環境が日々変化し、まさに予測困難な時代となっています。こうした中でも、多様な子供たちが誰一人取り残されず学び続けることができる教育を目指し、教職員も働きがいをもって教育に当たれるように、明確な教育理念をもち先を見通した学校運営を行っていくことが、私たち校長に課せられた責務であると考えます。

この「じょうほう山形」にも掲載している山形県中学校長会のシンボルマークは「美しく咲かせた教育の成果」を表します。また、このマークは「紅花色」で、その色は、教育愛と温かい心の交流、そして気品と想像力を表しています。ぜひ、会員全員が丸となって、山形県の中学校教育を愛と力と気品に満ちたものにし、教育の成果を美しく咲かせましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年度山形県中学校長会組織機構図

令和八年度役員	会 長	加藤ゆかり（山 形）	会計監事	三浦 浩子（山 形）	秋葉 由紀（東村山）
	副会長	鎌田さとみ（村 山）		大宮 裕一（西村山）	
		大友 信昭（置 賜）	幹事長	須崎 智志（山 形）	
		須崎 智志（幹事長）	幹 事	前田 洋光	栗田 和真
	理 事	高橋 修（山 形）		畔上 大	武田 裕子
		鎌田さとみ（東村山）		稲葉 健一	加藤 咲子
		加藤 淳一（北村山）	事務局	長沼 政直	
		齋藤 一徳（米 沢）			
		目黒 広志（西置賜）			
		佐藤 英喜（鮑 海）			

組 織 機 構



職務・役割分担等

		職 務 内 容	構 成	担当幹事
理 事 会	理 事 会	重要事項の審議 会務の執行	各地区会長 11名 会長・幹事 8名	須崎幹事長
	会 計 監 査	諸会計の監査	山形、東村山、 西村山から各1名	稲葉幹事
	生 徒 指 導 委 員 会	生徒指導に関する情報交換、検討、提言 小中生徒指導委員会の委員	委員長（県中副会長） 各地区1名	前田幹事
	研 究 推 進 委 員 会	研究計画の作成、担当地区との連絡・調整 大会要項編集、県中研究協議会分科会の運営	委員長（県中副会長） 各地区1名	畔上幹事
	編 集 委 員 会	生徒の学習に資する資料の編集 （中学生生活と進路の編集）	各地区1名	加藤咲幹事
	対 策 委 員 会	教育行財政に関する問題の検討と対策 小中対策委員会の委員	各地区1名	武田幹事 稲葉幹事
	教育問題検討 特別委員会	教育問題一般についての検討 緊急問題についての検討	各地区1名（理事） 会長・幹事 7名	須崎幹事長
幹 事 会	庶 務 ・ 幹 事	庶務、会計担当		稲葉幹事
	広 報	校長会誌編集 県中広報誌担当 全中機関紙編集協力員		加藤咲幹事
	全 日 中 調 査	中学校教育に関する調査 人事院勧告概要調査 文教関係立法・予算措置等要望調査		武田幹事
	調 査 研 究	教育課程編成・実施に関する調査		畔上幹事

令和8年度 活動方針・事業計画

【基本的な考え方】

現在我が国は、急激な社会の変化や新型コロナウイルス感染症の影響などにより、デジタル化社会への急激な進展など日々の生活基盤が大きく変容し、物質的な豊かさの一方で人間関係の希薄化や雇用の不安定化など日常生活において心の豊かさを実感できにくい状況がある。また、国際情勢の不安定化や地球規模の気候変動による影響など先の予測が困難な時代の中にある。

教育界においては、いじめの重大事態の発生や不登校児童生徒数の増加などが引き続き重要な課題となっている。また、学力の向上はもとより、家庭や地域社会との連携の強化、生徒の学習や生活の基盤づくり、道德教育及び特別支援教育の一層の充実、すべての活動の源である健やかな心身の育成が中学校教育に求められる。

本県においては、昨年度「第7次山形県教育振興計画」が策定され、その趣旨にそった学校運営が求められている。なかでも、授業力の向上並びに教育山形「さんさん」プランについては、成果と課題の検証を確実に進める必要がある。

こうした中で県中学校長会は、創立以来79年の積み重ねを基に、教育における不易を大切にするとともに、新たな時代に対応した山形らしい確かな教育のあり方を求めて実践と改革を進め、着実に成果を上げてきた。私たちは、これからも新たな教育課題に対して果敢に挑戦し、校長相互の資質向上を図り、学校経営のさらなる充実と学校からの教育改革を進め、信頼される教育現場をつくらなければならない。

私たちの目指す教育は、自分の地域を大切にしながら、志高く国際的な視野をもってたくましく未来社会を創り出していく生徒の育成である。この使命と義務を果たすべく、めざす生徒像として、

- ・自他の「いのち」を尊重する生徒
- ・主体的に学び、確かな力を身につけて自己を確立する生徒
- ・他とかかわりをもって共生できる心豊かな生徒
- ・社会への幅広い関心をもち、創造力に富んだ生徒

を掲げ、全日中の研究主題である『『豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会を創る担い手』を育てる中学校教育』及びそれを柱とした全日中新教育ビジョン「学校からの教育改革」を踏まえ、次の運営方針と活動の重点のもとに活動するものである。

1 運営方針

- (1) 校長の経営力の向上を図るとともに、中学校教育の課題を究明し、十分な意見交換のもと解決に努める。
- (2) 組織・運営等のあり方を継続的に見直し、活動の活性化と効率化を図り、目的達成に努める。
- (3) 小学校・高等学校・特別支援学校及び関係諸機関との連携を密にし、情報交換に努めるとともに必要に応じて積極的な発信を行う。

それぞれの学校の実態に合わせて、東日本大震災及び甚大な自然災害の復興に関わる支援を継続するとともに、Society 5.0の社会を見据えた新たな教育活動の在り方を模索する。

2 活動の重点

「いのちの教育」を基底に据え、社会を生きぬく力の一層の育成を図るという視点から、次の5項目を活動の重点とする。

- (1) 地域や家庭から信頼される特色ある学校づくりに努める。
 - ア 自主・自律の精神に基づいた創意ある学校の経営
 - イ 家庭・地域と一体となった開かれた学校づくりの推進
 - ウ 生徒の安全・安心を確保できる学校づくりの推進
- (2) 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成・実

施に努める。

ア 社会に開かれた特色ある教育課程の編成・実施
イ 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得並びにそれらを活用する能力及び主体的・協働的に学習する態度を育てる指導・評価の工夫・改善

ウ 組織的・計画的なカリキュラムマネジメントへの取組

エ 豊かな心と健やかな身体を育てる道德教育・健康教育の充実

○特別の教科道德と各教科等の関連を図る全体計画の作成・活用

○他と協調して生きる社会性、規範意識を育む教育の充実

○心身の健康及び個性・感性を育てるバランスの取れた文化・スポーツ活動の推進

○ガイドラインに則した部活動の推進

- (3) 教育公務員としての意識の高揚と教育力の向上を図るとともに研究活動の充実に努める。

ア 使命感、倫理観、指導力を高める研修の推進

イ 生徒・保護者・地域に信頼される、教職員の綱紀保持・服務規律の徹底、体罰・暴言の絶無及び不祥事の防止

ウ 中学校教育の改善に資する調査研究の充実

エ 共通課題の継続研究と地域課題についての実践的な研究の推進

- (4) 教育諸条件の整備及び教職員の処遇改善のための対策活動に努める。

ア 教職員定数改善と教育山形「さんさん」プランの成果と課題の検証

イ 教職員の資質向上を図るための施策の充実

ウ 人材確保に関する特別措置法の趣旨を生かした教職員の処遇の維持向上

エ 学校配当旅費の確保及び教材費の増額

オ 学校施設及び設備の整備・充実

カ 文化・スポーツ活動及び諸活動のための経費の増額

キ へき地・小規模校教育の振興充実

ク 特別支援教育の振興充実

ケ 自主・自律を進める学校づくりのための学校裁量予算の措置及び増額

- (5) 学校における働き方改革を推進する。

ア 業務改善に向けた継続的な取組

イ 管理職のマネジメント力の向上

ウ 地域及び関係機関と連携した部活動改革

事業計画

各委員会等の分掌業務と併せて、本年度は次のような事業を計画・推進する。

- 1 第80回山形県中学校長会研究協議会の成功を期して、会員総力を挙げて取り組む。
- 2 当面する教育課題の解決に向けて、会員の意見を集約し、積極的に発信する。
- 3 生徒指導上の複雑化する課題や問題行動の情報の共有及び、他機関との連携強化を図る。また、生徒指導の充実と迅速な対応を図るため、「生徒指導四者連絡協議会」を県中学校長会及び各地区校長会で開催する。
- 4 教職員の資質向上について一層の実践を推進するとともに、教職員評価や学校における働き方改革についてもその諸課題について広く議論を進める。
- 5 中学校教育及び中学校長会の組織等に関する課題や緊急性の高い問題について検討するため、必要に応じて「教育問題検討特別委員会」を開催し、問題の究明と解決策を探る。

今年度の各委員会活動方針や事業計画の概要をお知らせします。

〈研究推進〉

- ・全日中の研究テーマ「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育」に基づいて、「学校経営」「生徒指導」「学習指導」の3つの分科会で研究を推進していく。

令和8年度の担当地区は

学校経営……Cブロック（東村山地区） 生徒指導……Dブロック（北村山地区）

学習指導……Eブロック（飽海地区）

- ・令和8年度は、第80回県中学校長会研究協議会を、ヒルズサンピア山形を会場にして午後のみ開催する。講演会等は実施せず、全体会と分科会を実施する（来賓なし）。
- ・6月中、令和8年度教育課程編成に関する調査を開始する。
- ・第2回研究推進委員会（10月27日）において、今後の地区研究担当と東北・全国の発表当番を5ブロックから4ブロックにする提案について検討、研究推進委員会としての考えをまとめる。
- ・会誌第57号に、県中学校長会研究協議会と調査のまとめを掲載する。
- ・会誌第57号の「研究・実践の歩み」は56号に引き続き「学校経営」を東村山地区、「生徒指導」を北村山地区、「学習指導」を飽海地区が担当する。
- ・令和9年度第81回県中学校長会研究協議会の発表地区についても令和8年度と同様となる。令和9年度の会誌の担当については、学校経営を東置賜地区、生徒指導を最上地区、学習指導を山形・上山地区とする。

〈編集〉

- ・「中学生生活と進路」の母体となる全国版を基に、県版の資料や情報の検討、修正等を行う。
- ・進路指導主事を対象に、「中学生生活と進路」の活用状況や内容に関するアンケートを実施する。
- ・全体会及び小委員会を開催し、アンケート結果を分析しながらキャリア教育や進路指導の在り方について検討し、編集内容に反映させる。

〈生徒指導〉

- ・7月8日に県警察本部、県中央児童相談所、県教育局義務教育課との生徒指導四者連絡協議会を開催する。平成28年度から焦点化したテーマを定めて生徒指導委員会委員が参加し、運営している。
- ・8月4日に、「SNSに関わる問題の実態と取組み」「いじめの防止とその対応等」について協議・報告、及び情報交換を行う。
- ・1月27日に、「不登校生徒の実態と取組み（別室登校生への対応も含む）」について協議・報告、及び情報交換を行う。

〈対策（小中共通）〉

- ・県連小、県中の活動方針に基づき、全連小・全中、東北連小・東北中との連携を密にし、国の動向や学習指導要領、第7次山形県教育振興計画等の趣旨を踏まえ、教科指導や学級経営及び生徒指導並びに特別支援教育の充実やへき地・小規模校教育の充実を図るため、教育諸条件の整備推進に向けた対策活動を展開する。特に、令和の日本型教育の構築等、国の教育改革の推移を見守り、本県としての課題を明確にするとともに、山形県公立学校における働き方改革プラン（第Ⅲ期）の内容を踏まえながら、具体的な対策を立て、組織的・継続的な活動を推進する。さらには、大規模災害等を想定した安全・安心な施設・設備の一層の充実を図るための活動とともに、東日本大震災に関わる継続的な支援を引き続き推進する。

第76回東北地区中学校長会研究協議会 秋田大会

今年度の東北地区中学校長会研究協議会は、7月2日（木）～3日（金）に、秋田県で開催となります。本県からは、学習指導分科会において、酒田市立第二中学校の田中大校長（飽海地区）が発表する予定です。